招　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和８年３月11日

国立大学法人東京大学総長　藤井　輝夫

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　13

○第11号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　22、31

⑵　導入計画物品及び数量　CT装置　一式

⑶　調達方法　購入等

⑷　導入予定時期　令和８年度２月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

A　X線CT装置は多列検出器を有し、全身CT検査が可能なこと。

B　患者被ばく低減のための機能を有すること。

C　画像解析や画像処理が行えるワークステーションを備えていること。

D　様々な造影剤注入法に対応し、かつ安全機能を有する造影剤自動注入器を備えていること。

E　本件調達のCT装置は、院内の既存ネットワークと接続でき、患者情報の取得や画像の転送・保管といった連携が行えること。

2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　令和８年４月27日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提出先　〒113―8655　東京都文京区本郷７－３－１　東京大学医学部附属病院事務部管理課経理チーム　王子　卓信　電話03―5800―8616

3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　令和８年３月11日から令和８年４月27日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

4　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

5　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 22, 31

⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : CT System 1 Set

⑶　Type of the procurement : purchase

⑷　Basic requirements of the procurement :

A　The X-ray CT system must has a multi-row detector and is capable of performing whole-body CT examinations.

B　The CT system must has the functionality to reduce patient exposure.

C　The CT system must be equipped with a workstation capable of image analysis and processing.

D　The CT system must be equipped with an automatic contrast injector that is compatible with various contrast injection methods and has safety features.

E　This CT systems must be able to connect to the existing network within the hospital, acquire patient information, and transfer and store images.

⑸　Time limit for the submission of the requested material : 17 : 00　27 April, 2026

⑹　Contact point for the notice : OJI Takanobu, Secretariat Procurement Division, The University of Tokyo Hospital, 7―3―1 Hongo Bunkyo-ku Tokyo 113―8655 Japan, TEL 03―5800―8616

○第12号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　14

⑵　導入計画物品及び数量　「計算・データ・学習・推論」融合基盤システム　一式

⑶　調達方法　購入等

⑷　導入目的　本システムは、共同利用・共同研究拠点である本学情報基盤センターにおいて、大学等の広範囲にわたる学術研究に対して大規模かつ超高速の演算処理機能を提供する。計算・データ・学習・推論を有機的に連携することで、AI for Scienceによる科学の変革や新しい科学の創成、ひいてはSociety5.0の実現を支えるプラットフォームとしての利用など幅広い応用に資する。

⑸　導入予定時期　令和８年度３月以降

⑹　調達に必要とされる基本的な要求要件

A　本システムは以下のハードウェア要件を満たしていること。

①　計算ノードは、演算加速装置を備える演算加速ノードと、汎用CPUノードからなること。

②　演算加速ノードの総理論演算性能（倍精度浮動小数点数）は、140PFLOPS以上であること。エミュレーションでも可とする。

③　演算加速ノードの総理論AI演算性能（FP４またはそれ以上の精度を持つ浮動小数点による、疎性を考慮しない）は、25EFLOPS以上であること。

④　演算加速ノードの総メモリバンド幅は1.5PByte／sec以上、総メモリ容量は200TByte以上であること。

⑤　汎用CPUノードのCPUは、合計6,000コア以上であること。コアあたりの理論演算性能（倍精度浮動小数点数）は65GFLOPS以上、コアあたりのメモリ容量2.0GByte以上、コアあたりのメモリバンド幅5.0GByte／sec以上であること。演算加速ノードと命令セットアーキテクチャは異なっていても構わない。

⑥　各計算ノードは物理容量1.5TByte以上のNVMe SSDを搭載すること。

⑦　計算ノードが備えるノード間接続ネットワークインタフェースは、演算加速装置１基あたり400Gbps以上であること。汎用CPUノードについては１ノードあたり400Gbps以上であること。

⑧　各汎用CPUノードは、合計800Gbps以上のバンド幅でシステム外部と直接通信できること。各演算加速ノードは、汎用CPUノードを中継してシステム外部と通信できること。

⑨　5.0PByte以上の記憶容量を有する高い信頼性を持つ並列ファイルシステムを提供すること。同一の構成を保ったまま20PByte程度までの拡張が再構成なく行えること。圧縮機能を有すること。計算ノード群から1.0TByte／sec以上の転送性能でアクセスが可能であること。

B　本システムは以下のソフトウェア要件を満たしていること。

①　Linuxオペレーティングシステムが動作すること。

②　汎用CPU向けに自動SIMDベクトル化機能及びOpenMP　API（バージョン4.5以上）を有するFortran　2008、C11、C＋＋17以降に対応する処理系を備えること。演算加速装置向けに自動並列化機能、OpenACC API（バージョン 2.7以上）、OpenMP　API（バージョン5.0以上）を有するFortran　2008、C11、C＋＋17以降に対応する処理系を備えること。

③　MPI-3.1以上の通信ライブラリが提供されること。

④　Pythonの処理系を備えること。

⑤　高度に最適化された数値計算ライブラリ、学習ライブラリが提供されること。

⑥　バッチジョブシステムが提供されること。汎用CPUノード群と演算加速ノード群の両者を同時に使用する単一のジョブが実行できること。

⑦　コンテナシステムとしてKubernetesが提供されること。

C　導入システム全体の消費電力は、冷却設備の電力を除いて2.0MVA以下であること。CPU、演算加速装置、メモリ、ストレージ装置、ネットワークスイッチが連続的に稼働し続けた際にも十分な廃熱が行えるよう、電源容量、冷却、設置方式が考慮されること。汎用CPUおよび演算加速装置、計算ノード間ネットワークスイッチの冷却は直接水冷とすること。ストレージ等のその他部分についてもリアドア水冷等により運用コストの低減を図ること。設置面積は冷却設備を除いて45平方メートル以下であること。

2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑹の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　令和８年４月21日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提出先　〒277―0882　千葉県柏市柏の葉６－２－３　東京大学情報システム部情報戦略課会計チーム　和田　一弘　電話070―1531―4283